

テーマ 「 農地の利用状況調査の実施 」

邑南町農業委員会

活動内容

邑南町農業委員会では、毎年11月を農地パトロール月間とし、農地の利用状況調査を行っている。

町内にある200集落について、各集落の農地や農業に精通している方々を協力員（農林業集落推進員）に任命し、農地の利用状況調査について協力いただいている。



調査の実施等については、総会での協議のうえ決定し、町内11箇所の会場で推進会議（調査の説明会）を開催。平成22年度から農業委員21名と協力員で現地調査を実施している。27年度より荒廃農地の非農地判断を進めていくための準備を進めている。

取り組み結果

集落からの協力員とともに現地調査を実施することで、農業委員だけではわからない農地の細部の状況も分かり、また、調査の趣旨や実施体制等も地域に対してPRできる。併せて非農地判断の取組も伝えることもでき、農業委員だけで実施するよりも効果的である。

会長コメント

農業委員だけで、町内全域の農地の利用状況を現地調査するには限界があり、集落の協力員の皆さんの存在は非常に大きいものであり、今後も調査にご協力いただきたい。また、農地の利用状況調査を通じ、農業委員の活動を知っていただきたい。さらに集落内の農地、特に遊休農地の状況を把握して非農地判断を進めていきたい。